



経営コンサルタントが 第6回 オススメする



【発行】日本経済新聞出版社
【著者】デヴィット・ピアンキ、関 美和(翻訳)
【価格】1,620円(税込)

なが せ みつひろ
中小企業診断士・税理士 長瀬 充寛

お父さんが教える 13歳からの金融入門

今改めて学ぶ マナーのしくみ

説明できますか? 「レバレッジ」、「オプション取引」、「ヘッジファンド」…。

さて今回は「カネ」に関して、中でも金融をテーマにした書籍を紹介させていただきます。冒頭で質問したような金融に関わる言葉

は日常的にニュースや経済新聞等で頻繁に耳にしますが、今一つ意味を正確に理解できていない面も多いと思います。投資や運用と聞くと苦手意識、またそもそも嫌いだ

であるといった感覚を持ち、つい遠ざけてしまう人が多いのではないのでしょうか。私自身も会計の専門家でありながら、中々とつきにくい分野でもあります。

この書籍はアメリカの弁護士である著者が、13歳の息子トレントにおカネと投資と株式市場について教えようと書きだしたのがきっかけになっています。

中学生でもわかる例題を用いて解説されており、ビジネスで頻繁に使われるいまさら聞けないキーワードを確認できる点で、大人でも十分にためになる内容となっています。

著者は「アメリカの高校生はおカネの話題になると他の国の子供たちより遅れている」と述べていますが、私は日本においても全く同様であると考えます。学生時代に具体的な勉強科目にはなく、教え

てもらった記憶はありません。大学で経済学を学んでも、金融市場や金融商品の知識については十分とは言えないのではないでしょうか。

私自身も企業の財務アドバイザーはできても、金融については苦手意識があります。投資や運用は一部のお金持ちのすることと考

えがちですが、企業経営者にとっても経済や市場の仕組みを知って金融のスキルを得ることは、財務戦略の選択肢を広げる点で大切なことです。その意味でこの本は、

企業を成長・安定させるにはなくてはならない「おカネ」という経営資源を多面的に考える機会を与えてくれるでしょう。

さてここでは、2年間に亘りヒト・モノ・カネなどを切り口にしたテーマで幅広く書籍紹介してまいりました。今回で最後の紹介と

させていただきます。

なりました。「分かりやすく読みやすい」、「薄くて早く読める」、「タイトルが面白い」など、忙しい中小企業経営者の方々になるべく興味をもつて読んでいただく書籍の選択を心がけ、実際に購入して読まれた経営者の方々より、経営のヒントになったと多くのお声をいただきました。ありがとうございます。

Profile

税理士法人TAG経営 代表
中小企業診断士・税理士
名古屋商工会議所専門相談員
名古屋市新事業支援センターマネージャー

財務・税務を中心に経営コンサルタントとして、創業や新事業進出、事業承継、事業再生などの経営戦略・財務戦略を得意とする。また占術家としての顔を持ち、経営に関するアドバイザー、そして経営者に安心を与える心のサポーターとして、中小企業経営者からの信頼は厚い。

